

# Home

～長洲町に生まれて～

この町で生まれ、この町で育ち、そして今、故郷・長洲町を想う…。このコーナーでは、様々な分野の第一線で活躍する長洲町出身の人を紹介します。

## 歌は心をモットーに 元気と笑顔を届け続ける

歌手（松原区出身）

なかじま

## 中島 ゆきこさん(36歳)



### PROFILE

本名：中島 祐希子（なかしまゆきこ）1975年7月12日生まれ。松原区出身。長洲小、長洲中学校卒業。88年NTV「輝け第11回日本ちびっこ歌謡大賞」優勝、90年TX「スターは君だ、ヤング歌謡大賞グランドチャンピオン大会」最優秀歌唱賞をはじめ、数々の賞を受賞。高校在学中の92年「コロムビア歌謡曲新人歌手オーディション」優勝。94年「望郷はぐれ歌」で歌手デビューを果たす。07年テイチクレコード移籍。11年9月に「倅せごよみ」を発売中。



▲1月29日、ながす未来館で行われた町商工会主催の「中島ゆきこ歌謡ショー」。600人の招待客で満席になった会場は、美しい歌声と、ユーモア溢れるトークで笑顔に包まれていた。

昨年10月14日、NHKホールで開催された東日本大震災の復興支援「第11回虹の架け橋まごころ募金コンサート」。中島さんは、北島三郎さんをはじめとする、30人の歌手と共演。4回目の出場となった今回は、「手のひらを太陽に」を熱唱し、全国にその歌声を届けた。

子どもの頃から自宅にあったカラオケセットで、歌うことが大好きだった少女は、マイクを手で得意の演歌で周囲を魅了した。「祖父母が喜んで聴いてくれるのが、とてもうれしかったですね」と振り返る。初舞台は、小学2年生の時に

出場した夏祭り。「受け取ったトロフィーがとにかく重くて」と懐かしむ。軽い気持ちで出場した「輝け第11回日本ちびっこ歌謡大賞」で優勝。その後も、数々の賞を轟かせた。歌手にあこがれるようになったのも、ちょうどこの頃。転機は17歳の時に訪れた。レコード会社のオーディションを受け、夢をつかんだ。デビューから18年。全国各地で応援してくれる人たちが、待ちわびるファンの元へ出向き、歌で元気を届けている。「歌を通して人とふれあうことが、何よ

りうれしい」と瞳を輝かせる。「楽しみに待ってくれるお客さんがいたり、『来てくれてありがとう、楽しかったよ』と言われたり。歌い続けてきてよかった、と思う瞬間ですね」。華やかに見える一方で、苦勞も多い。「3千人の観客の前で歌う日もあれば、山奥までキャンペーンに行く時もあります。地道に歌い続けて今日までできた」と振り返る。ひた向きに歌う背中を押してくれるのは、お客さんだけではない。「マネージャーをはじめ、多くのスタッフの支えがあるからこそステージに立てます。ありがたいです」と歌える喜びに感謝する。東京を拠点に、全国を飛び回る。海辺の町を訪れると、故郷と重なって見えるという。「潮の香りがすると、長洲町を思い出します。海でサクラ貝を拾ったり、誰もいない海岸では、よく大声で歌の練習をしたりしていました」と思い出は尽きない。「これからも、同じように活動を続けたいですね」と話し、「もっとテレビ出演が増えるように、頑張らなければ」と奮起する。長洲町の歌姫は、あの頃と変わらないキュートな笑顔と歌声を全国に届けている。